

KWAIDAN



小泉八雲『怪談』出版120年

2024.6.27.thu

小泉

『怪談』出版120年
小泉八雲没後120年
小泉八雲記念館開館90年

小泉セツ

ラフカディオ。
ハーンのお
妻として
生きて

イナタ・ノ・カコイ・テグミ・アリマス
ロタシ・ヨロコブ

やいづのハカラ
カコイ・マフ・ニ

小泉八雲

Lafcadio Hearn's Wife

Koizumi Setsu

Jun 27 2024 - Jun 8 2025 | Lafcadio Hearn Memorial Museum

2025.6.8.sun



小泉八雲記念館



最新情報はウェブサイト、SNS等
www.hearn-museum-matsuc.jp
X @
Instagram @

開館時間 | 4月9日8時30分 - 18時30分(受付終了18時10分) | 10月3日8時30分 - 17時(受付終了16時40分)
入館料 | [大人]410円(団体520円、記念館旧居2館共通券560円) | [小中学生]200円(団体160円、記念館旧居2館共通券280円)
〒690-0872 鳥根県松江市奥谷町3-2-2 | 電話 | 0855-21-2147 | フラックス | 0855-21-2156

主催 | 小泉八雲記念館

共催 | 一般社団法人八雲会、松江市

協力 | 池田記念美術館、小泉家、鉄の歴史博物館、富山大学附属図書館、松江歴史館、焼津小泉八雲記念館

後援 | 朝日新聞松江支局、毎日新聞松江支局、読売新聞松江支局、日本経済新聞松江支局、産経新聞社、

共同通信社松江支局、時事通信社松江支局、山陰中央新報社、中国新聞社、島根日日新聞社、NHK松江放送局

T.S.K.さん、中央テレビ、B.S.S.山陰放送、日本海テレビ、山陰ケーブルテレビ、山陰マリンチャンネル

小泉セツ | 小泉家

小泉八雲からセツ宛書簡 | 1901年7月25日、1904年8月19日 | 焼津小泉八雲記念館

[背景] セツの織見本帳 | 小泉八雲記念館

Koizumi Setsu | The Koizumi Family

Letter from Lafcadio Hearn to Setsu | July 25, 1901 and August 19, 1904 | Yaizu Lafcadio Hearn Memorial Museum

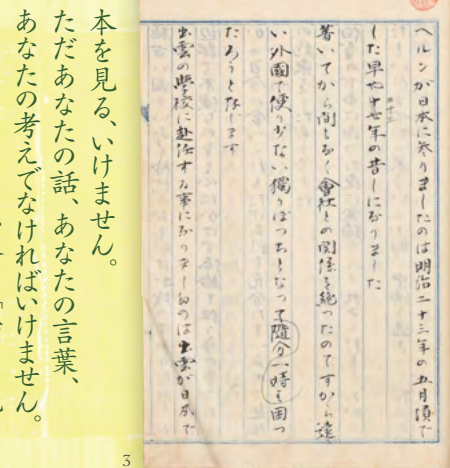
BACKDROP: Samples of weaving by Setsu | Lafcadio Hearn Memorial Museum

1 890(明治23)年、アメリカから日本にやってくるラフカディオ・ハーン。松江では「ヘルンさん」と親しまれたその人の妻となつたのが、松江の士族の娘小泉セツでした。小泉セツが、64年の生涯を通して夫とともに過ごしたのは13年9ヶ月。おそらく彼女が最も生き甲斐を感じ美しく輝いていた時期だったでしょう。本展は、西洋人の妻としてたくましくたおやかに時代を生き抜いたひとりの女性にフォーカスしていきます。『怪談』出版から120年、ハーンの没後120年を迎える今年、夫の再話文学創作における最大の功労者、小泉セツの生涯に光をあてることによつて、セツというフィルターを通して作家ラフカディオ・ハーンを見つめなおしてみたいと思います。



第一章 セツの生い立ち
第二章 セツとハーンの世界
第三章 小泉八雲夫人

小泉セツ(1868-1932)
ハーンの世界文学
創作における
最高のアシスタント



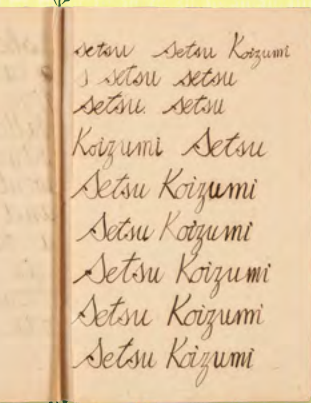
本を見る、いけません。
ただあなたの話、あなたの言葉、
あなたの考えてなければいけません。
——小泉セツ「思い出の記」



In 1890 (Meiji 23), Lafcadio Hearn travelled to Japan. In Matsue, he was fondly known as "Herun san", and it was here that he met his wife, Koizumi Setsu, the daughter of a Matsue samurai. Of Koizumi Setsu's 64 years, she spent 13 years and 9 months with her husband. Perhaps this was the period during which she felt most fulfilled and her talents were able to shine.

The exhibition will focus on this woman who lived as a wife of a Westerner with strength and grace. In this year, which marks the 120th anniversary of the publication of *Kwaidan* and the 120th anniversary of Hearn's death, the exhibition aims to shine a light on the life of Koizumi Setsu, the greatest contributor to the creation of Hearn's retold literature.

- CHAPTER 1
Setsu's early life
- CHAPTER 2
The Story of Setsu and Hearn
- CHAPTER 3
Mrs Koizumi Yakumo



- 1 家族写真(神戸時代) 小泉家
- 2 セツの織見本帳 小泉八雲記念館
- 3 小泉セツ「思い出の記」(浄書) 池田記念美術館
- 4 セツの茶道具 鉄の歴史博物館
- 5 セツのルーペ 小泉八雲記念館
- 6 セツの筆記体練習帳 池田記念美術館



「松江駅から」松江レイクラインバス約16分・小泉八雲記念館前下車 ④ 路線バス約14分「塩見繩手」下車徒歩5分 ⑤ 路線バス約20分「塩見繩手入口」下車徒歩1分 ⑥ 堀籠電車松江しんじ湖温泉駅から ⑦ 徒歩約20分 ⑧ 専用駐車場はございませんので、最寄りの駐車場有料をご利用ください。



展覧会情報、関連イベントの詳細はウェブサイト等でお知らせいたします。

- 1 明治時代の松江の士族
小泉セツが生きた時代のサムライたち
7月27日④ 14時
講師 笠井今日子氏(松江歴史館学芸員)
- 2 小泉セツの英単語帳
9月8日④ 14時
講師 松浦雄二氏(鳥根県立大学教授)
- 3 小泉セツと怪談
9月28日④ 14時
講師 長谷川洋二氏(八雲の妻・小泉セツの生涯「著者」)
- 4 「語られた物語の再話」媒介者としてのセツ
10月12日④ 14時
講師 三成清香氏(鳥根県立大学教授)
- 5 『KWAIIDAN』120年
現代にみえる超自然的なもの価値
2025年1月12日④ 14時
講師 小泉凡館長